

当院にて血液検査・尿検査を受けられた方 及びそのご家族の皆様へ

【研究課題】

クレアチニン測定に及ぼす薬剤の影響の検討（審査番号 2019323NI）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院 検査部
研究責任者 検査部 臨床検査技師 吉本 明
担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

承認後～2022年3月31日

【対象となる方】

2019年1月1日～2021年3月31日の間に当院検査部で血液検査・尿検査を受けられた患者さん。通常診療の一環として行われた血液検査・尿検査の残検体、及び検査データを用いて研究を実施するため、本研究により新たな侵襲は加わりません。

【研究の意義】

血中・尿中クレアチニンの測定は腎機能を評価する際に広く用いられている検査項目であり、その測定が正確に行われることは大変重要です。しかしながら、血中・尿中に存在する特定の薬剤はクレアチニン測定値に影響を及ぼす可能性があります。

【研究の目的】

血中・尿中に存在する薬剤がクレアチニンの測定に及ぼす影響を明らかにします。本研究により、今後より正確なクレアチニン値を報告できることが期待されます。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果のデータ、服薬データを収集して行う研究です。また、検査で残った検体を使用し、薬剤の影響を検討しますが、特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの血液・尿検査結果や服薬データ等は、解析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないようにした上で、当研究室において吉本明（管理責任者）が、パスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。そのため、研究に関わる個人の結果を

あなたにお伝えすることはできません。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は、検査を受けられてから、1か月以内に主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学医学部附属病院検査部の検査部運営交付金から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。また、本研究により知的財産権が発生した場合にも、あなたへの権利はございません。

2020年5月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師 吉本 明

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 35022） FAX：03-5800-8630

Eメールでのお問い合わせ：yoshimotoa-lab@h.u-tokyo.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院

診療科名 検査部 検査部責任者名 技師長 小野佳一